

承認番号：1743

## 「肝・胆・膵外科手術患者における Sarcopenia の及ぼす影響 に関する後ろ向き観察研究」へのご協力をお願い

- 2000年1月1日からこれまでに当科で手術を受けられた方へ -

研究機関名 岡山大学

責任研究者 岡山大学病院 低侵襲治療センター 助教 吉田龍一

分担研究者 岡山大学病院 肝・胆・膵外科 医員 高木弘誠

### 1. 研究の意義と目的

Sarcopenia（サルコペニア）とは、進行性および全身性の骨格筋量および骨格筋力の低下を特徴とする症候群であり、原発性と二次性に分類されます。原発性は加齢に伴う変化であり、二次性には病気に伴う変化が含まれます。最近 sarcopenia と外科手術における合併症や予後との関連性が報告されています。特に、癌の患者さまや、臓器移植を受けられた患者さまに対する Sarcopenia の影響が多く報告されております。

この研究の目的は、sarcopenia の存在や、その意義を明らかにし、術後の転帰との関係を調べることにあります。将来的に手術の前にリスクの高い患者さまを選別し、手術の際に栄養療法、リハビリ療法などを組み合わせることで合併症を減らすことが出来る可能性があり、この臨床研究の意義は極めて深いと考えられます。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象：

岡山大学病院の肝胆膵外科で手術を受けられた患者様  
約 1000 例の患者様を対象とします。

#### 3) 研究方法：

2000年1月1日からこれまでの間に当科において手術を受けられた患者さまを対象とし、術前全身状態、特に筋肉量と術後の転帰との関連性について調べます。

具体的な内容・方法は次の通りです。

①過去のカルテを用いて患者さまの病歴等の確認、血液検査の確認、術前 CT を用いて筋肉量の評価を行います。これらは過去のカルテの確認であり、この研究に参加することにより特別の負担が増えることはありません。

②筋肉量と転帰の関係を調べます。

#### 4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個

人情報は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 術前の全身状態、治療内容、血液検査データ、術前画像データ
- ・ 手術時間、出血量
- ・ 術後経過、ICU 滞在日数、合併症の有無、在院期間など

#### 5) 情報の保護：

調査情報は岡山大学肝胆膵外科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成 25 年 11 月 30 日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 低侵襲治療センター

氏名：高木弘誠、吉田龍一

電話：086-235-7257 ファックス：086-235-7636